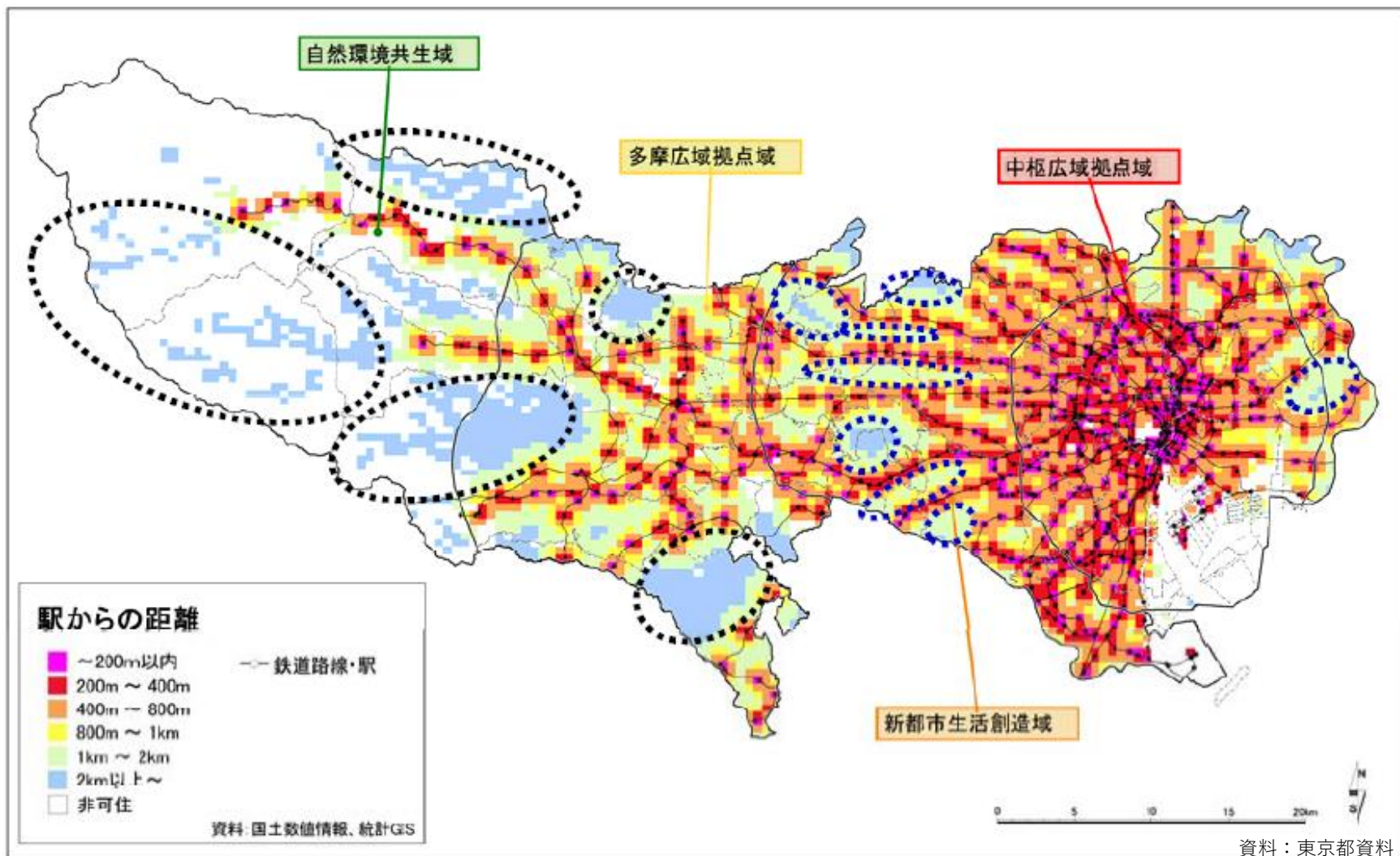


東京都における各輸送モードの現況

鉄道の現況

- 東京都の鉄道網は都心部を中心に高密度に整備されている。
- 都心部に近く人口が集積しているにも関わらず、鉄道駅までの距離が遠いエリアが存在（青丸箇所）
- 多摩地域では広い範囲で鉄道空白地域が広がっている（黒丸箇所）

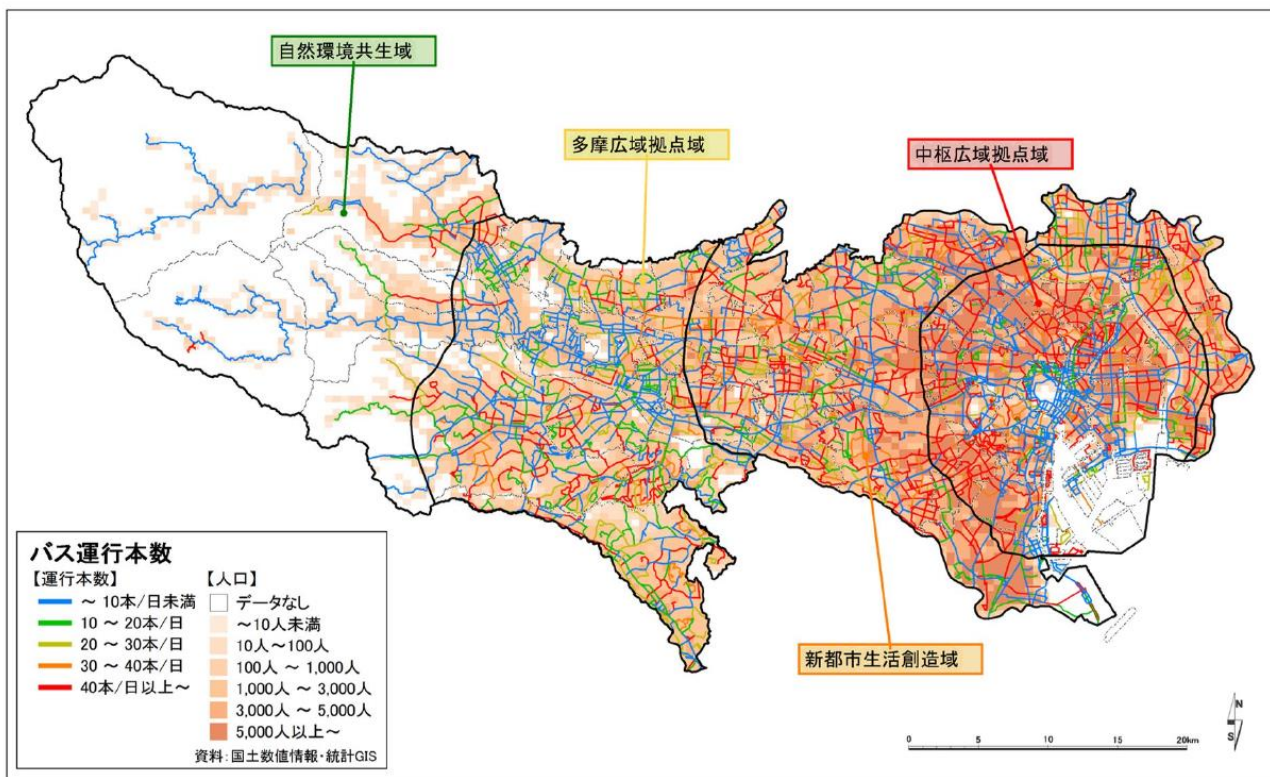
駅までの距離（直線距離）



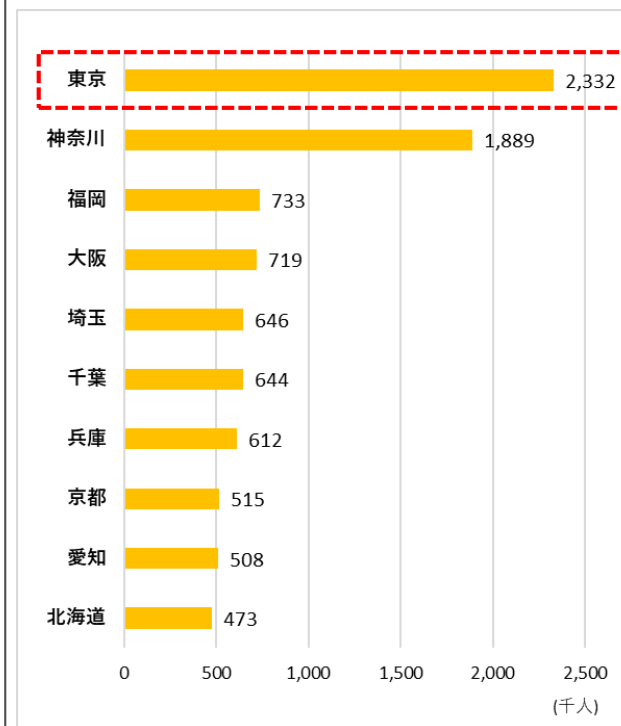
路線バスの現況

- 南北方向の移動など、鉄道網を補完する手段として路線バスが運行されている。
- 多摩広域拠点域以西では一日の運行本数が10本未満の路線の割合が高いなど、**地域によってサービス水準に偏り**がある。
- 東京都の乗合バスの輸送人員は1日あたり約2,332千人であり全国最多

バスルートの運行本数と人口



乗合バス1日当たり輸送人員
(上位10都道府県)



出典：東京都資料

資料：自動車輸送統計年報（令和元年度/国土交通省）
を基に東京都作成

コミュニティバスの現況

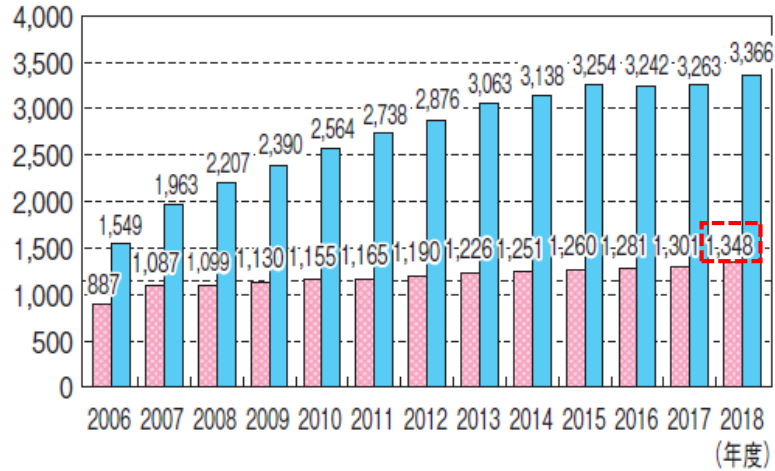
- 全国で約7割の市区町村がコミュニティバスを導入しており、毎年増加
- 東京都内では、区部では23区中20区、多摩部では30市町村中24市町村がコミュニティバスを運行している。また、島しょ部では9町村中5町村が町営・村営バスを運行している。

東京都のコミュニティバスの現況

区市町村名	コミュニティバス名称	区市町村名	コミュニティバス名称
千代田区	風ぐるま	町田市	玉ちゃんバス他
中央区	江戸バス	小金井市	CoCoバス
港区	ちいばす	小平市	にじバス
新宿区	新宿WEバス	日野市	ミニバス
文京区	B-ぐる	東村山市	グリーンバス
台東区	めぐりん	国分寺市	ぶんバス
墨田区	すみまるくん他	国立市	くにつっこ、あおやぎっこ
江東区	しおかぜ	福生市	運行なし
品川区	運行なし	狛江市	こまばす
目黒区	運行なし	東大和市	ちょこばす
大田区	たまちゃんバス	清瀬市	きよばす
世田谷区	せたがやくるりん他	東久留米市	運行なし
渋谷区	ハチ公バス	武蔵村山市	MMシャトル
中野区	運行なし	多摩市	多摩市ミニバス
杉並区	すぎ丸	稲城市	iバス
豊島区	池07系統	羽村市	はむらん
北区	Kバス	あきる野市	るのバス
荒川区	さくら・汐入さくら	西東京市	はなバス
板橋区	りんりん号	瑞穂町	運行なし
練馬区	みどりバス	日の出町	ぐるり～日の出
足立区	はるかぜ	檜原村	運行なし
葛飾区	レインボーかつしか	奥多摩町	運行なし
江戸川区	環七シャトルバス	大島町	運行なし
八王子市	はちバス	利島村	運行なし
立川市	くるりんバス	新島村	無料巡回バス「ふれあいバス」
武蔵野市	ムーバス	神津島村	村営バス
三鷹市	みたかシティバス	三宅村	村営バス
青梅市	運行なし	御蔵島村	運行なし
府中市	ちゅうバス	八丈町	町営バス
昭島市	Aバス	青ヶ島村	運行なし
調布市	ミニバス	小笠原村	村営バス

全国コミュニティバスの導入状況

※全1,922市区町村のうち1,348が導入（2018年時点）



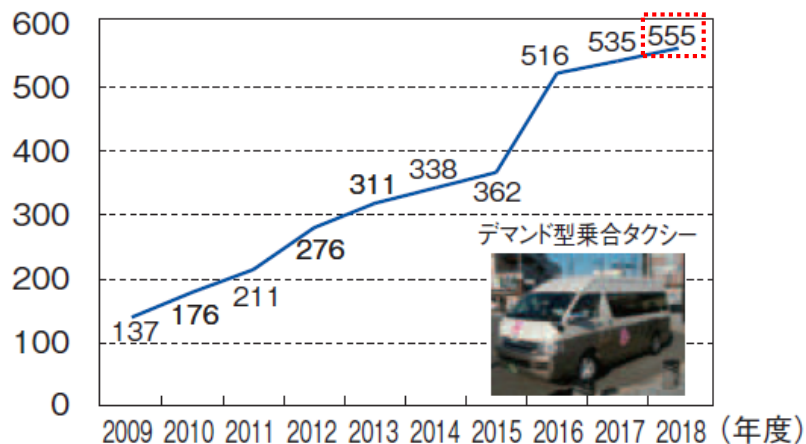
資料：国土交通省自動車局作成

出典：令和元年度交通の動向（国土交通省）に東京都加筆

オンデマンド型交通の現況

- コミュニティバスが通行できない狭隘道路を含む交通不便地域等で、住民のニーズに応じて運行するデマンド型乗合タクシー等が導入されている。
- **全国で約3割**の市町村がデマンドタクシーを導入しており、毎年増加
- 東京都内では**武蔵村山市**、**檜原村**の2市村でデマンド交通が**本格運行**している。また、**東久留米市**が**実証運行**を実施している。

デマンド型乗合タクシー導入市町村数の推移
※全1,724市町村のうち555が導入（2018年時点）



東京都のデマンド交通本格運行区市町村

区市町村名	名称
武蔵村山市	むらタク
檜原村	デマンドバスやまびこ

※実証運行中：東久留米市「くるぶー」

資料：東京都作成

注1：乗合タクシー：乗車定員11人未満の車両で行う乗合の旅客運送サービスをいう。

注2：導入市町村数は、団地型・過疎型の運行形態の合計。

注3：いわゆる「自家用有償運送」は含んでいない。

資料：国土交通省自動車局作成

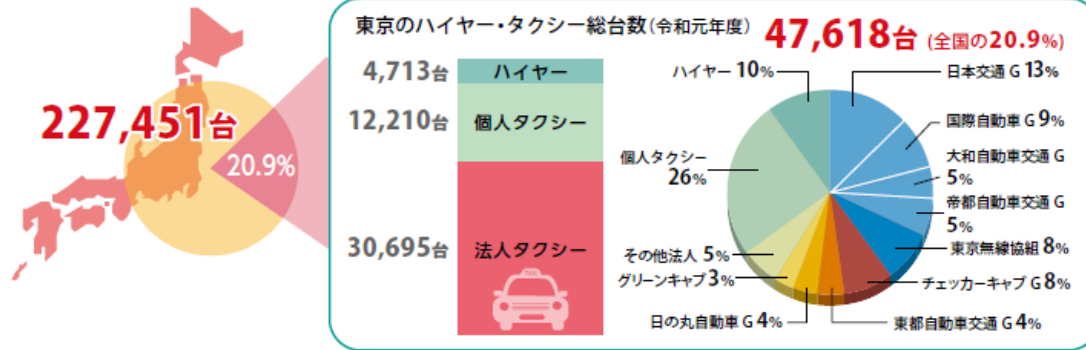
出典：令和元年度交通の動向（国土交通省）に東京都加筆

タクシーの現況

- 東京都のハイヤー・タクシー台数は**全国の約21%**を占める。
- 法人タクシー台数は平成20年をピークに減少し、現在は**約30万台**で安定している。

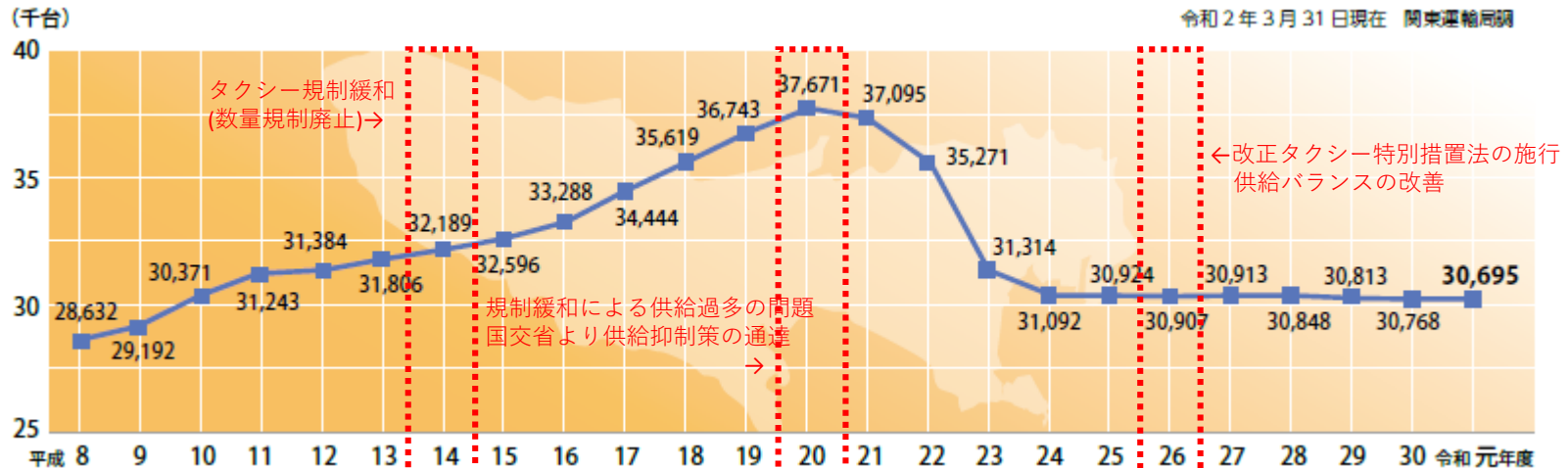
全国及び東京のハイヤー・タクシー総台数（令和元年度）

 全国のハイヤー・タクシー総台数(平成30年度)



出典：東京のタクシー2020（令和2年度/（一財）東京ハイヤー・タクシー協会）

東京都における法人タクシー台数の推移



出典：東京のタクシー2020（令和2年度/（一財）東京ハイヤー・タクシー協会）に東京都加算

シェアサイクルの現況

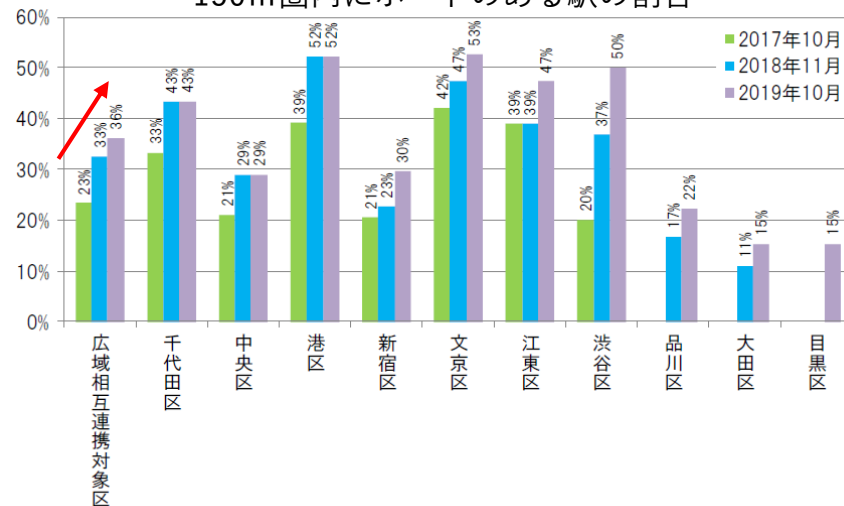
- 都心部を中心にシェアサイクル事業が展開されている。
- 自転車シェアリングを行っている自治体は**28区市**であり、多くで自治体間の相互利用が可能
- 広域相互連携対象区（ドコモバイクシェア相互利用実施区）内の**鉄道駅の150m圏内にポートがある駅**の割合は、2017年10月の**23%**から2019年10月には**36%**に増加しており、**シェアサイクルの利便性が向上**しているといえる。

自転車シェアリング実施自治体



出典：東京都環境局ホームページ

広域相互連携対象区※で
150m圏内にポートのある駅の割合



※ 広域相互連携対象区…2017年10月時点：7区、2018年10月時点：9区、2019年10月時点：10区

注：2020年7月に中野区が追加され、現在都内11区のポートで貸出・返却することが可能（2020年7月時点のポート数800か所、自転車台数約8,300台）

出典：第10回シェアサイクル会議資料「シェアサイクルの取組等について」（令和元年11月/国土交通省）に東京都加筆

資料：第1回シェアサイクルの在り方検討委員会配付資料「シェアサイクルに関する現状と課題」（令和2年3月/国土交通省）